

2018年5月8日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 伊豆エリアへ新たな観光特急列車を運行します

○JR東日本では、「グループ経営構想V(ファイブ)～限りなき前進～」において、観光流動の創造と地域の活性化に取り組んでいます。

○本物の自然の恵みや文化的魅力が存在する伊豆エリアに向けて、新たに観光特急列車を新造して運行します。当社初のプレミアムグリーン車(1+1列)の導入ほか、飲食サービスでは日本で愛される食文化の一つである「麺(ヌードル)」をお楽しみいただく予定です。

○営業運転開始は、2020年春を予定しています。是非ご期待ください。

### 1. 新たな観光特急列車を運行し、伊豆エリアの「本物の魅力」を世界に発信します

自然や文化、歴史などが「本物の魅力」として存在する伊豆。首都圏からのアクセスもよく、家族や友人と気軽に行ける日本でも有数の観光地です。インバウンドのお客さまにも伊豆エリアへの注目が増えています。

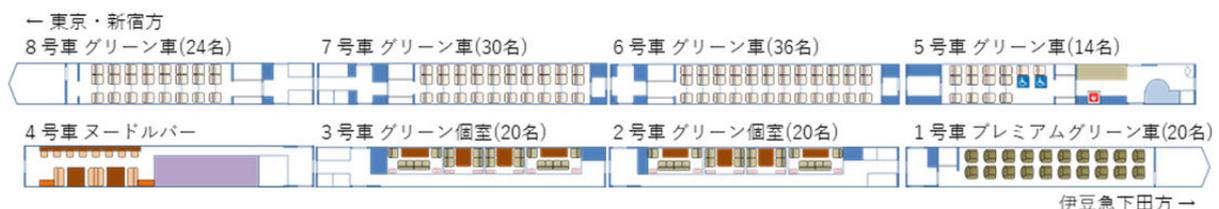
伊豆エリアのブランディングを通じ地域と連携し、お客さまに伊豆の「本物の魅力」を体験していただくとともにこの「魅力」を世界に向けて発信するために、新たな観光特急列車を新造し運行することとしました。

### 2. 運行開始時期と運行区間について

- 運行開始時期 2020年春(予定)
- 運行区間 東京・新宿～伊豆急下田  
※具体的な運転日等については、詳細が決まり次第お知らせします。

### 3. 車両の概要について

- 車両形式 E261系
- 両数 8両×2編成
  - 1号車 : プレミアムグリーン車(1+1列)
  - 2～3号車 : グリーン個室
  - 4号車 : ヌードルバー
  - 5～8号車 : グリーン車(2+1列)
- 定員 164名
- 編成図



#### 4. デザインと車両の特徴について



##### (1) エクステリアデザイン

エクステリアデザインは、伊豆の圧倒的で雄大な自然を表現しています。エクステリアのベースカラーである紺碧色は「伊豆の海と空」、車両前面から屋根上にかけてのホワイトは「伊豆の砂浜が太陽の光を受けて金色に輝く様子」、車体側面のグレーは「溶岩地形である城ヶ崎海岸の黒々とした岩石」をイメージしています。また、車窓の景色の移り変わりを感じられる開放的な車内空間を提供するために、各車の車体側面の上部に「天窗」を設けます。

##### (2) 各車両の特徴

###### ○ プレミアムグリーン車(1号車:伊豆急下田方)



- ・当社初となるプレミアムグリーン車
- ・ゆったりとしたプライベート空間とくつろぎの空間を実現する1+1列の座席(シートピッチ 1250mm)
- ・天窗と窓からのダイナミックな車窓をお楽しみいただくため、収納スペースは座席下に配置

###### ○ グリーン個室(2~3号車)



- ・気の合う仲間や大好きな家族と目的地までゆったりとした時間を過ごせるグリーン個室
- ・落ち着いたくつろげるカフェをイメージしたプライベート空間
- ・4名様用と6名様用をご用意

###### ○ ニードルバー(4号車)



- ・こだわりの麺(ヌードル)を目の前で調理するオープンスタイルのキッチン
- ・車窓を流れる相模湾の景色を眺めながらお食事を楽しめるカウンター席とボックス席

○ グリーン車(5～8号車:東京・新宿方)



- ・天窓からの陽の光がガラス製荷棚を通して車内に降り注ぐ空間が心地よいグリーン車
- ・伊豆の自然をイメージしたリラックスできる空間
- ・従来の特急列車よりも広く快適な2+1列の座席(シートピッチ 1160mm)

○ インバウンド対応ほか

- ・各車両に大型の荷物置き場を設置(2～3号車のグリーン個室は、室内に荷物スペースを設置)
- ・無料公衆無線LANサービスの提供
- ・全席に電源コンセントを設置

(4)担当デザイナー

車両のトータルデザインは、「KEN OKUYAMA DESIGN」※1が担当します。

また、ヌードルバーのプロデュースとデザインは、「TRANSIT GENERAL OFFICE」※2が担当します。

※1:KEN OKUYAMA DESIGN

世界的な工業デザイナーであり、日本の伝統文化を広く世界へ発信している奥山清行氏が代表を務める。当社では TRAIN SUITE 四季島ほか山手線の新型車両や新幹線などをこれまで手掛けています。

※2:TRANSIT GENERAL OFFICE

大人気のカフェレストラン、ホテルやオフィス空間の創造で、日本だけでなく世界的にも評価の高い中村貞裕氏が代表を務める。当社では TOHOKU EMOTION の飲食プロデュースなどをこれまで手掛けています。

5. 飲食サービスについて

4号車では、「麺(ヌードル)」をお楽しみいただける飲食サービスの提供を予定しています。日本人が愛してやまない麺文化の素晴らしさと奥深さを、新たな観光特急列車から世界に向けて発信します。「麺(ヌードル)」のメニューは定期的に変更します。また、飲食サービスは4号車でお召し上がりいただけるほか、2～3号車の個室へのデリバリーサービスも提供する予定です。



※エクステリアデザインと各車両のイラストや麺(ヌードル)の写真は、すべてイメージです。